

一般質問

・育休退園制度について
・池新田高校の今後について



阿形 昭

問

0歳から2歳児の保育園児をもつ母親が下の子供を出産し、育児休業を取得した場合、上の子供を原則退園させる育休退園制度では安心した子育てができない。子育て支援に力を入れていく御前崎市では、この制度を廃止できないか

答

制度の廃止を望む声が多く、育児休業後に再入園できる保証も困難で、職場復帰に支障をきたす場合もあるという点から検討し、この制度を平成30年4月から廃止することを決定しました。

問

静岡県教育委員会は池新田高校と横須賀高校を2026年度を目途に統合すると発表しました。全国で高校がない市は、たった一つ。人口3、489人の北海道歌志内市だけです。御前崎市が本州で唯一高校のない市になってはいけません。地域活性化そして定住化促進の意味からも、統合してできる新構想高

一般質問

・地域包括ケアシステム構築に関して



阿南澄男

問

地域包括ケアシステムに関する30年度予算編成は

答

千葉県における、市民による高齢者の生活支援サービスを例に、市民の意識改革、そして、地域の誰もが参加しやすい環境づくりのための施策が必要であるという趣旨のご提案をいただきました。ご指摘のとおり、市民が互いに支え合って生活できる環境を整備し、地域に定着させていくことが大切です。

具体的な取り組みとして、高齢者の生活支援については、第2層協議体の設置・運営の旗振り役となる「生活支援コーディネーター」の活動費用に対する助成や「ささえあいサポーター養成講座」を開催し、生活支援の担い手を育成・確保することで、各地区における高齢者支援の取り組みの充実をはかっていきます。

また、介護予防の推進では、壮年期からの介護予防への意識付けと取り組みが大切であると考えますので、介護予防を担当する専門

職員を増員し、健康福祉部が一丸となって、介護予防事業の充実をはかっていきます。

市は、これらを実現していくために必要な予算を講じていきたいと考えています。

問

池新田高校存続のハードルは高いと思います。御前崎市に高校を残すために、今後も地域と連携し連携型中高一貫教育も視野に入れ、なんとしても高校を存続させるべきです。市長の見解は

答

市は幼児教育から高校まで連携してスクラムスクールプランを進めています。池新田高校は本市の教育において重要な役割を果たしています。私は県へ出向いて、思いを伝えます。



市民ボランティア主体の運動教室